

ノウハウ、もういりま
せん。

kaishika

本屋で「疲れる」

本屋は憩いの場。
歩いていると楽しい場所。
それなのに、最近、本屋を眺めて疲れることがあります。

平積みされた「成功」の二字。
ナントカで成功する。
成功する人のコンナ習慣。
朝型でナントカ。
成功する人の勉強方法。

そんなに人生ショートカットしたいか。
そんなに勉強時間ショートカットしたいか。

ああ、疲れる、と言いたくなってしまうんです。

自己啓発本、参考になりましたか？

100%自己啓発本の通りにやって、成功できましたか？

私は無理です。

そもそも100%同じことをする気が起きません。

自分がやりたいところだけをつまみ食いしようと思います。

すると結果は、「ザマあねえな」ということになります。

皆様はいかがなんでしょう？

「頑張らなくていいからね」

祖父に言われ続けてきたこと。

最近は「頑張らない」が流行のようです。

祖父は三十年も前から、「頑張らないで」を先取りしていました。

でも本当は「頑張らない」が一番難しいのを知ってほしい。

「頑張らない」の裏

「頑張らない」の裏側には、いっぺんに頑張らないための努力をしなさい、というメッセージが隠されてました。

だから、「頑張らない」は、私にとってはすごく重い言葉です。

頑張る必要はない。

それって「頑張る必要がない」ようにする必要があるので。

でも、ノウハウっていうのは、それすら惜しむ人がさらに何かをショートカットするために使いたがっているように見えるんです。

あなたは、あなたの人生から、何をショートカットしたいですか？

頑張れてない自分？

成功できてない自分？

理想の自分でない自分？

私、そこはショートカットするよりも削除したいんですが。

本を読みすぎると、現実と非現実の境目が薄くなることがあります。

これだけやれば、自分は「できる」子になれる。

そんな妄想が現実流れ込んできます。

自己啓発系の本を読んだだけで、やった気分になってしまいます。

やってないんですけどね。実際。

まったく実行できてないんですけどね、実際。

机上の空論

実行してる人はそれなりにすごいと思います。

でも、自分は自分。

本を書いた人とまったく同じ「運」があるわけではないんです。

それなら、本に書かれたことを実行して成功している自分を夢に思い描くなんて、馬鹿げてる。

そうってしまったら、自己啓発は面倒臭くなってしまいました。

それよりも、今日の前にある仕事の助けになる知識がほしいと思います。

これから、自分がやりたいと思うことのためになる知識がほしいと思います。

知識をため込むための方法さえ、今はノウハウ本が重宝されます。

ノウハウの通りに突っ込んだ知識って、どこまで応用できますか？

『大学』

短大、とか、四年制、とかの「大学」ではないんです。
中国の古典に『大学・中庸』というのがあります。
私が大学時代に暗記したのは最初の部分でした。

大学之道在明明徳、在親民、在至于止善。

暗記したころ、意味は不明でした。
今は、なんとなくぼんやりと「大切なことだ」と感じています。

ナントカで成功する、ということよりも、ずっと大事な言葉だと思うのです。
先生も、通り一遍の講義をしてくださったものですが、それ以上のことは自分で学びなさい、
というメッセージがあったように思います。

形になる目途はありません。
それでも、時間をかけて調べたこと、学んだことが身に付いたら、それは大切な知識財産、
そんな風に思うようになりました。

だから、ノウハウなんて、もういりません。